

令和7年度 第4回 舞阪中学校 学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年2月20日（金） 14時00から15時45分まで
- 2 開催場所 舞阪中学校 1階 旧パソコン室
- 3 出席委員 片山 幸一、江間 雅尾、佐々木 雄一、片桐 美恵子、小内 正枝
澤井 清香、山下 利恵
- 4 欠席委員 鈴木 孝一
- 5 オブザーバー 堀内 実（舞阪支所）
- 6 学 校 松井 麻紀子（校長）、松下 宏幸（教頭）、鈴木 朱美（教務主任）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 田岡 忍
- 9 議長の選出

前回会議（第3回）の経緯より、江間委員が務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- （1）学校関係者評価・いじめ防止基本方針への取組について
- （2）来年度の学校運営の基本方針について
- （3）学校運営協議会の自己評価について

11 会議記録

司会の松下教頭から、委員総数8人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）今年度の学校関係者評価

鈴木教務主任から、次の説明があった。

- ・生徒・保護者・職員の三者を対象に自己評価アンケートを実施。その結果を本校の重点4項目別に考察し、それぞれ次年度へ向けた改善の方策を提示した。
- ・いじめ防止基本方針への取組内容と、今後の改善方策を提示した。

議長から、学校の自己評価やいじめ防止基本方針への取組について、各委員に意見や気づいたことを挙げるよう提案があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・保護者に、いじめの実態をもっと知ってもらう必要があるのではないか。（片山委員）
- ・学力の面で、計画的な学習など、生徒と教員の認識の違いが生じているのではないか。（澤井委員）
- ・学校評価アンケートの学習面では、結果を鵜呑みにせず、もっと前進してほしいと思う。（片桐委員）
- ・舞阪中の学力が、県などで数値的評価が出ると、生徒たちのモチベーションにもつながるのではないか。（小内委員）

（2）来年度の学校運営の基本方針について

松井校長から、来年度の学校運営の基本方針について説明があった。委員からの説明は以下の通りであった。

- ・ボランティアの方を募集して、個を手厚く支援する取り組みは良いことだと思う。(片桐委員)
- ・現状、情報モラルはどんなことがおきているのか。(片桐委員)
 - ネット上に画像を勝手にあげてしまうなど、SNSのトラブルが多い。(松井校長)
- ・クラスが減る中で、支援クラスを増やすのはなぜなのか。(佐々木委員)
 - 発達支援教育への理解が進み、知的の学級は人数が増えたことによる学級増、さらに舞阪小にあって舞阪中になかった自・情の学級が新設となったためである。(松井校長)
- ・今後、浜松市の小・中学校で開始されるラーケーションとは、具体的にどのような取り組みなのか。(片山委員)
 - 学校ではできない学びを、保護者と一緒に体験したり、学んだりする取り組みである。(松井校長)
- ・お世話になっているボランティアの方たちに、御礼や恩返しとして、キャリア講座に招待出来るよう検討してほしい。(片桐委員)

協議の結果、松井校長の学校運営基本方針は、全員異議なくこれを承認した。

(3) 学校運営協議会の自己評価について

松下教頭から、今年度の学校運営協議会の自己評価について説明があった。委員からは、以下の発言があった。

- ・今後もCSだより（しおなり）を活用して、情報発信をする為に、アイデアがほしい。(片桐委員)
- ・ボランティア部が廃部になってしまうと、納涼祭や舞阪ふれあい祭りの、お手伝いや参加が減少することが心配である。(片山委員)
- ・保護者の代表として、協議会に参加したが、先生方には、学習面だけでなく生活面も沢山の指導をして頂き、感謝でいっぱいである。また、委員の皆さんには、地域や子供をよりよくするために、真剣に熟議に取り組んで頂き、たくさんの知らないことを教えて頂いた。(澤井委員)

その他報告事項等

松下教頭から、以下の説明があった。

- ・夢育やらまいか事業（CS加算分）に対する意見書にもとづき、実施した活動についての報告があった。
- ・委員8名のうち6名は来年度も継続、2名は他の委員と代わる予定である。
- ・来年度の学校運営協議会開催計画（案）として、会議は、年4回開催予定である。
- ・来年度第1回の会議は、令和8年4月28日（火）午後2時から1階会議室で開催する。
- ・第1回議長の選出について、山下委員が務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。